



操法大会は、消防団員が消火活動で使う小型ポンプなどの機材を用い、迅速・確実・安全に行動するために、定められた器具の取り扱いや操作技術を競う大会です。

地域を支える消防団

菊池市消防団は、地域における消防や防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、市民の安全安心を守る重要な役割を担っています。

【問い合わせ先】防災交通課 ☎0968 (25) 7203



消防団とは

国が定める消防組織法によって組織されている消防機関で、本市でも条例を定め、消防団を設置しています。市消防団は、団長や副団長などが所属する消防団本部をはじめ、菊池方面隊（第1〜7分団）、七城方面隊（第8〜10分団）、旭志方面隊（第11・12分団）、泗水方面隊（第13〜15分団）で構成され、総勢1434人の団員が所属しています。

いざというときに備える

団員は、いざというときに確実な消火活動ができるよう、日頃からさまざまな活動を行っています。積載車やポンプ、防火水利の定期的な点検の他、ポンプ操作の訓練など、有事の際に実働できるよう備えています。毎年、春と秋の全国防火予防運動期間に合わせ、啓発活動も実施。年末年始には、防火・防犯のため、地域を巡回

する年末警戒を行っています。

一堂に会する

団員たちの晴れ舞台

消防団全体が集合する行事もあります。毎年1月には、出初式を実施。令和6年度からは放水競技を行い、消防団以外の人も来場しやすいように工夫を凝らしています。消防操法大会も隔年で開催。今年は7月5日に行われ、各分団が日頃の訓練の成果を発揮しました。

すぐさま現場へ

地域を守る消防団

団員は、自分の仕事をしながらも、火災が発生すると、迅速に現場に駆け付けます。初期消火や現場付近の交通整理など、消防署や警察と連携しながら、早期消火と延焼防止を目指します。また、行方不明者の捜索や大規模災害時での出動など、市民の生命・身体・財産を守る活動を行っています。



【3位】第8分団（七城方面隊）



【準優勝】第13分団（泗水方面隊）



【優勝】第1分団（菊池方面隊）

菊池市支部消防操法大会
(7月5日)

Interview | インタビュー



菊池市消防団
坂井北斗団長

団員は、火災予防の啓発や日々の訓練の他、火災や行方不明者の捜索などの際は、いち早く現場に駆け付け、市民の安全安心を守るため活動しています。

一方で、団員には仕事や家庭があります。活動が過度な負担にならないように配慮しながら、訓練などは効率的・計画的に活動できるよう心掛けています。

日頃から点検や訓練を行っていますが、私たちの出動がないことが一番です。今年の3月1日からは、林野火災の予防を目的とした林野火災注意報・警報の運用も開始されました。市民の皆さんも、普段から火の取り扱いには、十分注意していただきたいと思います。

また、台風シーズンも迎えています。いざというときに備え、飲食物の備蓄や早めの避難を心掛けていただきますようお願いします。

団員を募集中です！

私たちの仲間になりませんか。

18歳以上で、菊池市に在住または勤務する人は、消防団に入団することができます。消防団に興味がある人は、消防団事務局（防災交通課）まで気軽にお問い合わせください。



大規模な消火訓練



今年3月には、全国で相次ぐ大規模山火事を受け、菊池広域連合消防本部や大津町消防団と合同で、鞍岳で山林火災が発生したことを想定し、消火訓練を実施。消防ホースを約2km連結して放水するなど、大規模な訓練を行いました。

災害時での活動



平成28年熊本地震では、避難誘導や給水など、幅広い活動に従事。

近年の消防団員の出動回数

	火災	行方不明者捜索	水害
R4年度	25	6	1
R5年度	31	3	0
R6年度	33	1	0

女性も活躍中 /

女性消防隊



保育園や幼稚園で、災害時における心構えなどを紙芝居で分かりやすく教えています。出初式では、子どもが楽しめる体験・啓発ブースを設置。インスタグラムで情報も発信中です。



Instagram